

平成 22 年 4 月 28 日現在

研究種目：基盤研究 (A)
 研究期間：2007～2010
 課題番号：19203003
 研究課題名 (和文) 金融取引のグローバル化とローカルな法的責任-モデル契約書による架橋の試み
 研究課題名 (英文) The Legal Theory of Syndicated Loans in the Primary Market, Collective Settlement and Applicable Law of Credit in International Finance Contracts
 研究代表者 野村 美明 (NOMURA YOSHIAKI)
 大阪大学・大学院国際公共政策研究科・教授
 研究者番号：20144420

研究代表者の専門分野：国際私法、国際取引法
 科研費の分科・細目：法学・国際法学
 キーワード：国際私法

1. 研究計画の概要

この研究は、グローバル化したシンジケートローンとローカルな法的責任を架橋し、発行市場から流通市場までを適切に規律するために、あるべき契約書のモデルを提案することを目的とする。

2. 研究の進捗状況

(1). 研究会について

毎年、シンジケート・ローン研究会を年 3～5 回開催している。

本年度の研究会では、LMA その他の書式と JSLA の書式を比較し、準拠法の相違が契約条項にどのような影響を与えるかを検討している。①融資枠の利用 (森下)、②弁済関係 (田澤)、③手数料・費用 (野村)、④保証 (道垣内)、⑤表明 (小塚)、⑥コベンナツ・デフォルト (久保田・小塚)、⑦当事者の交代 (藤澤)、⑧貸手間の関係 (久保田)、⑨その他 (田澤)、⑩手続法 (連携研究者 黄)

連携研究者の吉田は、執行および倒産問題について適宜研究会に出席して意見を述べる予定である。

(2). 役割分担による研究

研究分担者は、上記 1 の問題意識と議論に留意しつつ、各自つぎの研究を進めている。強行法・接触法の分析・経済分析 (野村)、契約法・相殺法の調査・米国法の比較調査・経済分析 (久保田)、社債その他・比較・英米法の比較調査・経済分析 (小塚)、契約法と実務調査・電子債権法 (田澤)、信託・強行法、担保法からの分析 (道垣内)、法と契約・英米との比較 (森下)、流通市場を視野に入れた担保および譲渡法制の

研究 (藤澤)

(3). 知識提供

研究課題に関する日本と外国の法と実務について、研究者および実務家から知識提供を受けている。

(4). 成果の公表

①ウェブページ

研究会、海外調査および専門的知識の提供による成果は研究補助者が整理しており、研究会専用ウェブページにより情報を共有するとともに対外的な情報発信を行っている。

②上記 1 については共同で研究報告または論文公表を予定している。

2 については各自が成果の公表に取り組むが、可能な限り 1 の共同研究の成果を取り入れるものとする。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

国際契約書式と JSLA の書式の比較検討がすでに 25%終了し、今年度で比較表が完成する予定である。

4. 今後の研究の推進方策

国際契約書式と JSLA の比較表を完成させ、個別研究と共に論文その他の形式で成果報告を行なう。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 29 件)

- ① 野村美明,
“Japanese Law as the Applicable Law under The Hague Securities Convention: What Rule of Substantive Law Should Be Applied?”, Osaka University Law Review, No. 57, pp. 1-18, 2010, 査読無
- ② 小塚荘一郎・藤澤尚江,
“Old Ideas Die Hard?: An Analysis of the 2004 Reformation of Secured Transaction Law in Japan and its Impact on Banking Practices”
Thomas Jefferson Law Review ,
Vol. 31 No. 2 , pp293-315, 2009, 査読有
- ③ 田澤元章,
「シンジケートローンと金融商品取引法」,
明治学院大学法律科学研究所 年報,
25 号, 59-69 頁, 2009 年, 査読無
- ④ 森下哲朗,
「動き出した電子記録債権の課題 (特集資金決済の新たな動向-電子記録債権法)」,
ジュリスト,
1391 号, 63-71 頁, 2009 年, 査読無
- ⑤ 野村美明,
「シンジケートローン基本判例研究-はじめに」,
ジュリスト ,
1368 号, 94-96 頁, 2008 年, 査読無

〔学会発表〕(計 3 件)

- ① 久保田隆,
「格付会社の規制について」,
国際商取引学会,
2009 年 11 月 7 日,
明治学院大学
- ② Souichirou Kozuka & Naoe Fujisawa,
“ Old Ideas Die Hard?-Reform of secured transaction law in Japan and its impact on the banking practice” ,
Conference on Globalizing Secured Transactions Law,
March 13-14, 2008,
San Diego, USA
- ③ 道垣内弘人,
「担保としての信託」,
金融法学会第 24 回大会,
2007 年 10 月 8 日,
慶応義塾大学

〔図書〕(計 2 件)

- ① 道垣内弘人,
日本経済新聞社, 「信託法入門」, 2007 年,
241 頁
- ② 道垣内弘人,
有斐閣, 「担保物権法[第 3 版]」, 2007 年,
241 頁

〔その他〕

ホームページ

<http://www2.osipp.osaka-u.ac.jp/~nomura/project/syndicated/index.htm>

専用メーリングアドレス

syndicatedloan@ml.osipp.osaka-u.ac.jp